

ふくしん景況レポート vol.117

2022年1月～3月期実績／2022年4月～6月見通し

令和4年4月5日

1. 調査の概要

● 調査の先と回答状況

	企業数	回答数	回答率(%)
総合	141	135	95.7
製造業	60	58	96.7
卸売業	15	15	100.0
小売業	20	20	100.0
サービス業	15	13	86.7
建設業	21	19	90.5
不動産業	10	10	100.0

● 調査の対象時期

2022年 1月～ 3月の実績

2022年 4月～ 6月の予想

● 調査の方法

この調査は、当金庫の営業地域で事業経営に従事されている方々にアンケート調査を実施したものです。

● 分析の方法

この調査は「0」を基準として「良い・増加・上昇・過剰・楽」の答えと「悪い・減少・下降・不足・苦しい」の答えの割合の差を求めてDI(Diffusion Index 拡張指数)として表したものです。

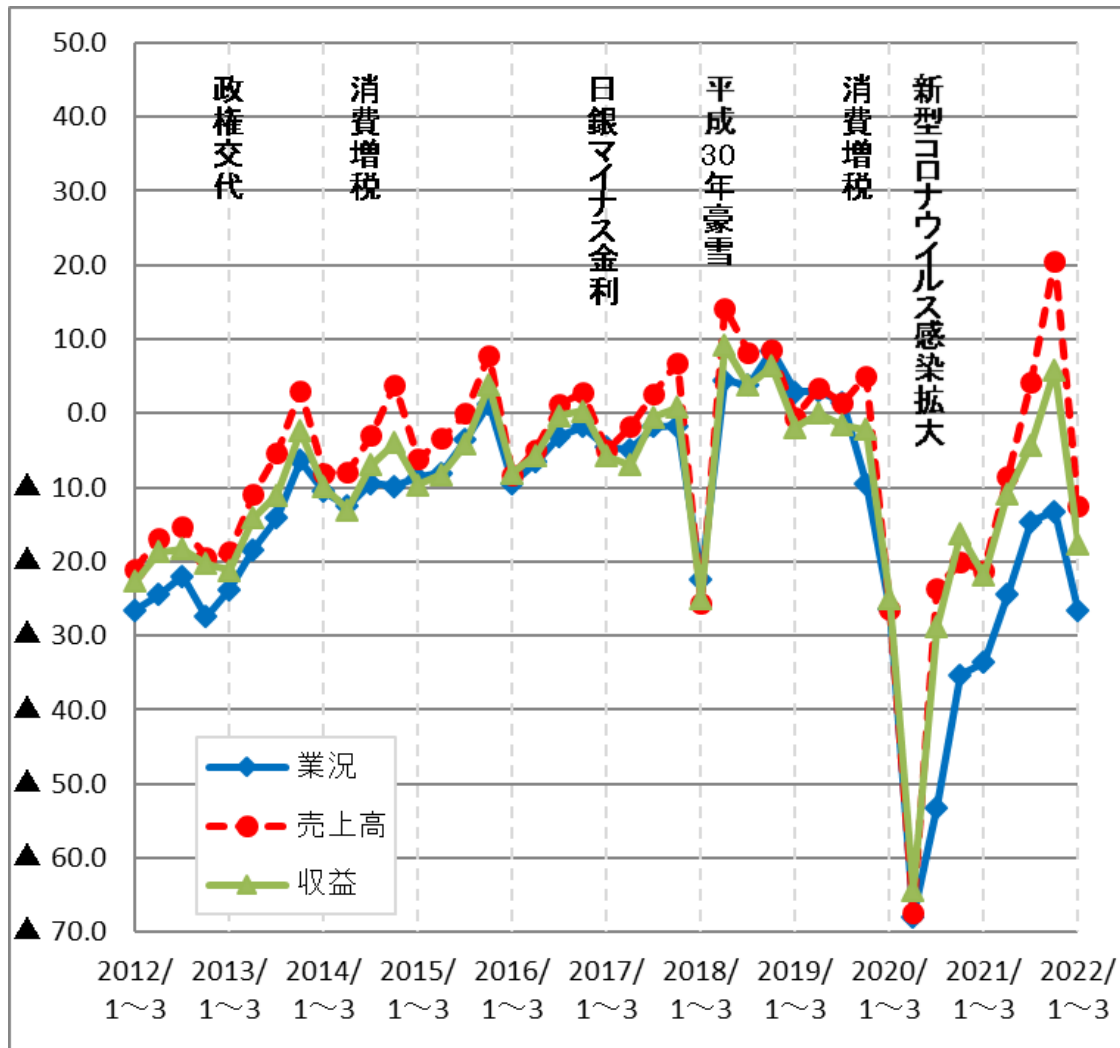
2. 業況天気図

	2020年		2021年				2022年	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月 (予想)
総合								
製造業								
卸売業								
小売業								
サービス業								
建設業								
不動産業								

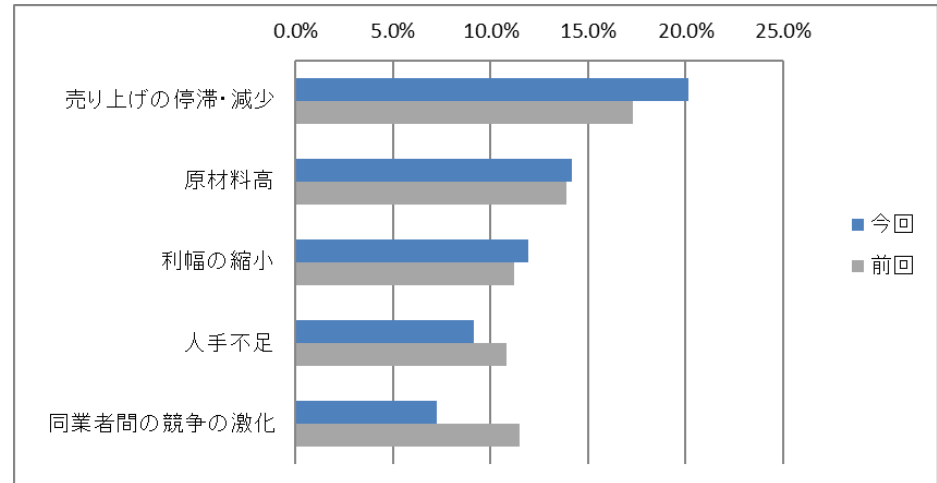
非常に悪い	悪い	やや悪い	まずまず	やや良い	良い	非常に良い
DI	-30	-15	-5	5	15	30

3. 10年間の推移・経営上の問題・当面の重点経営施策

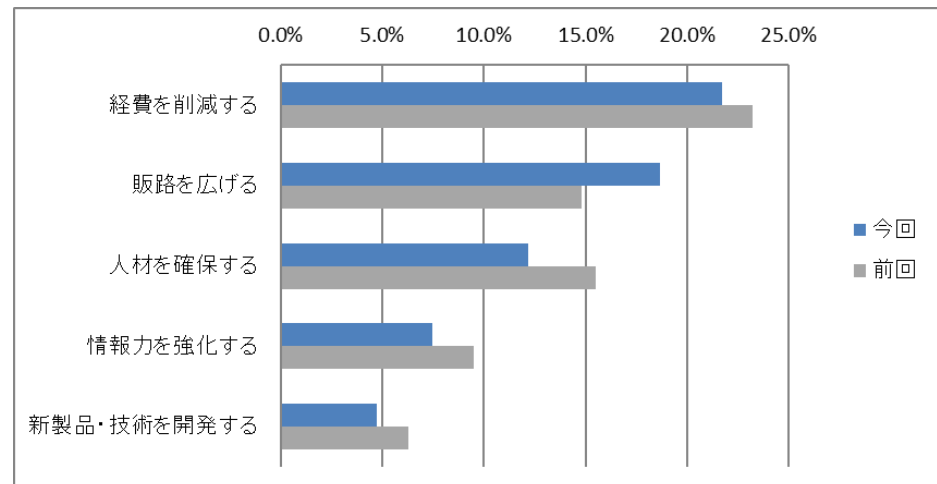
10年間の推移



経営上の問題



当面の重点経営施策

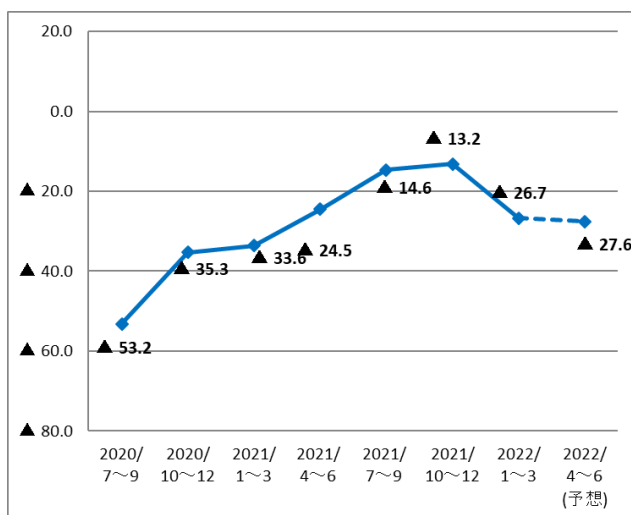


4. 総合／業況・売上高・収益

業況

今期は大幅悪化
来期も悪化を予想

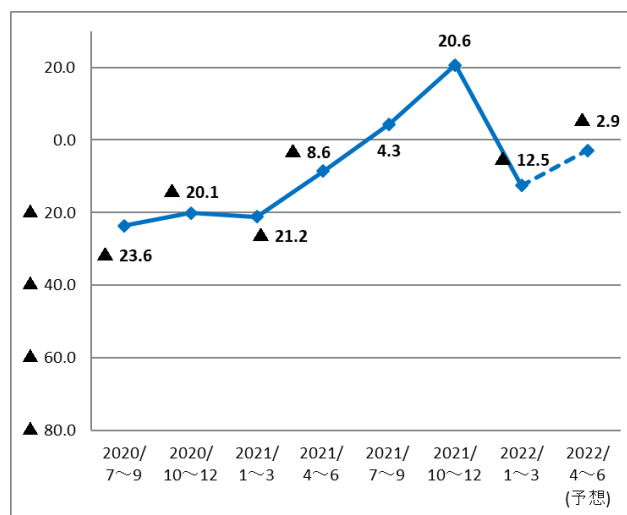
- ①業況DIは▲26.7で対前期比13.5ポイント大幅悪化
- ②前年同期比6.9ポイント改善
- ③来期DIは▲27.6と0.9ポイント悪化を予想



売上高

今期は大幅減少
来期は増加を予想

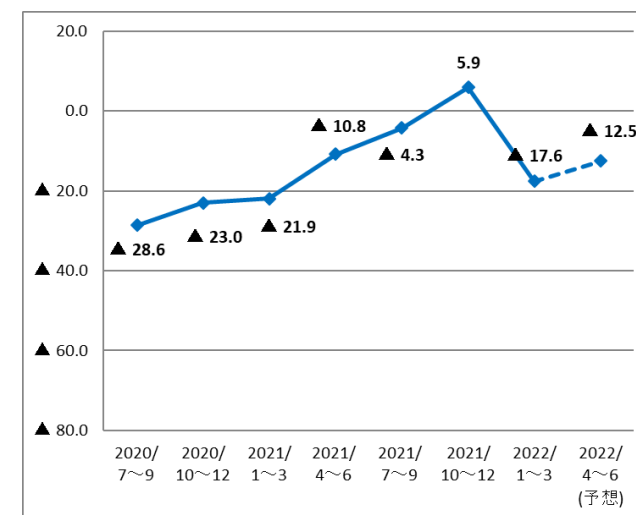
- ①売上高DIは▲12.5で対前期比33.1ポイントの大幅減少
- ②前年同期比8.7ポイント増加
- ③来期DIは▲2.9と9.6ポイントの増加を予想



収益

今期は大幅減少
来期は増加を予想

- ①収益DIは▲17.6で対前期比23.5ポイント大幅減少
- ②前年同期比4.3ポイント増加
- ③来期DIは▲12.5と5.1ポイントの増加を予想

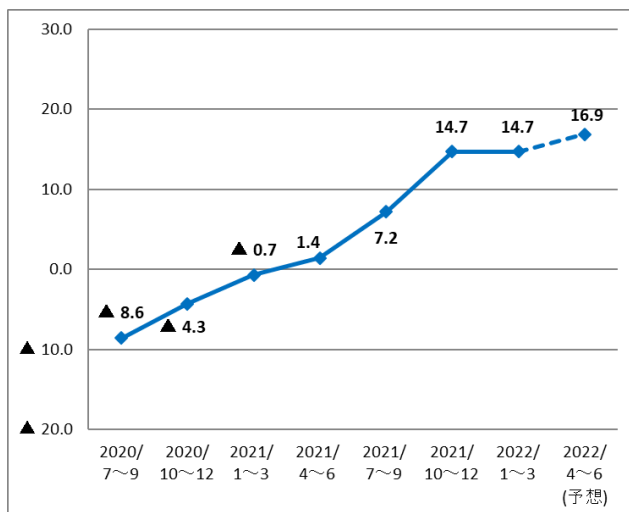


5. 総合／販売価格・仕入価格・在庫

販売価格

今期は横ばい
来期は上昇を予想

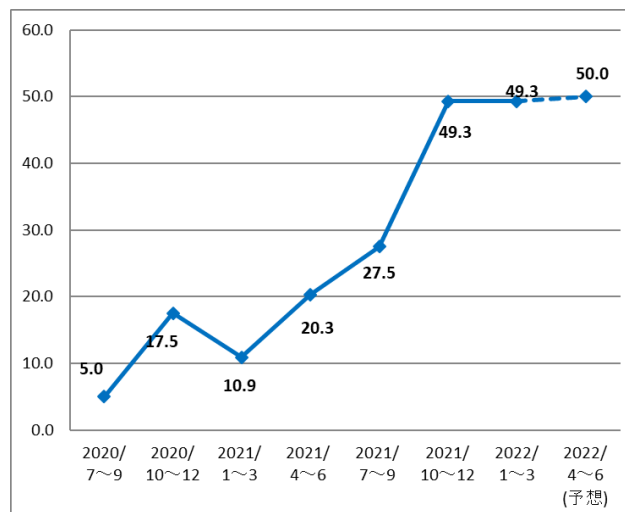
- ①販売価格DIは14.7で対前期比横ばい
- ②前年同期比15.4ポイント大幅上昇
- ③来期DIは16.9と2.2ポイントの上昇を予想



仕入価格

今期は横ばい
来期はやや上昇を予想

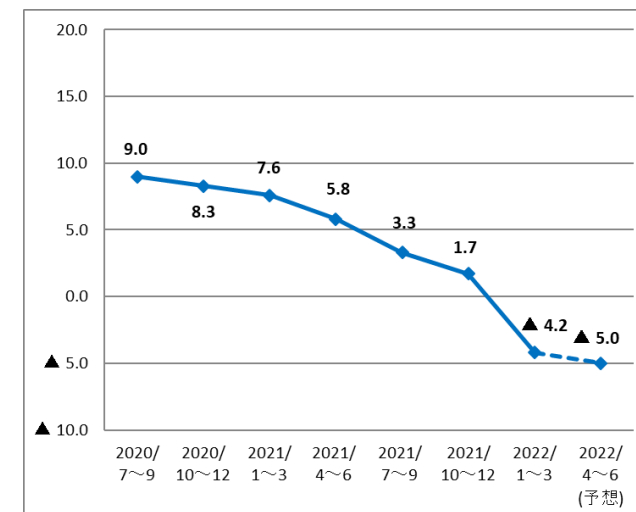
- ①仕入価格DIは49.3で対前期比横ばい
- ②前年同期比38.4ポイント大幅上昇
- ③来期DIは50.0と0.7ポイントのやや上昇を予想



在庫

今期は不足感が強まった
来期は不足感がやや強まる予想

- ①在庫DIは▲4.2で対前期比5.9ポイント不足感が強まった
- ②前年同期比11.8ポイント不足感が強まった
- ③来期DIは▲5.0と0.8ポイント不足感がやや強まる予想

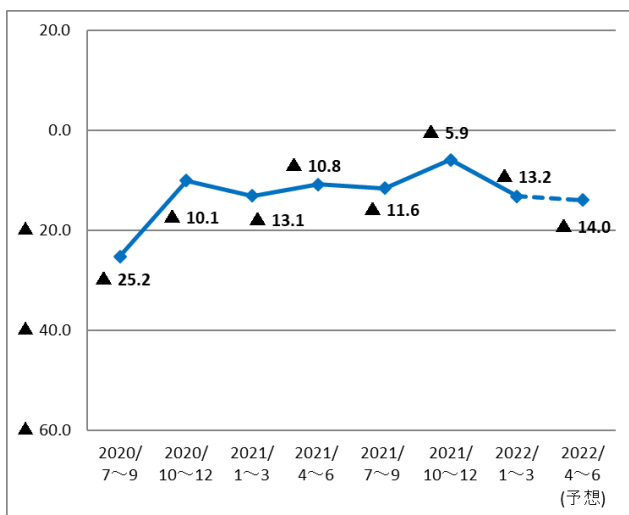


6. 総合／資金繰り・雇用・設備の状況

資金繰り

今期は悪化
来期もやや悪化を予想

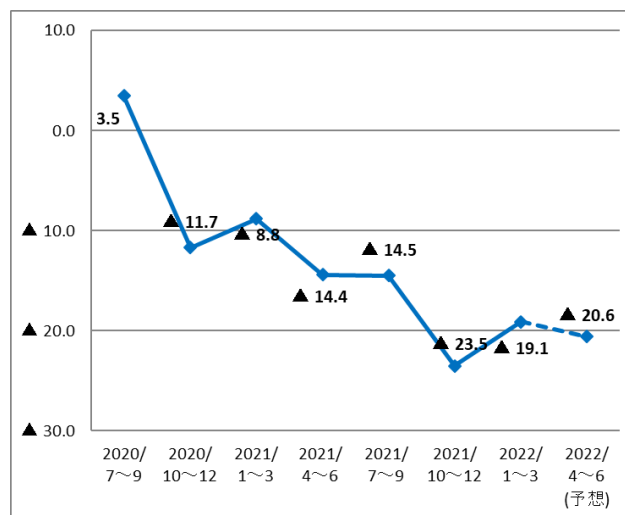
- ①資金繰りDIは▲13.2で対前期比7.3ポイント悪化
- ②前年同期比0.1ポイントやや悪化
- ③来期DIは▲14.0と0.8ポイントやや悪化を予想



雇用

今期は不足感が弱まった
来期は不足感が強まる予想

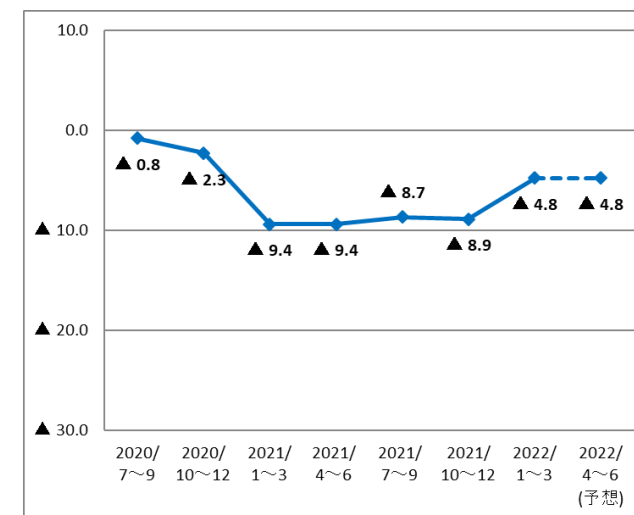
- ①雇用DIは▲19.1で対前期比4.4ポイント不足感が弱まった
- ②前年同期比10.3ポイント不足感が強まった
- ③来期DIは▲20.6と1.5ポイント不足感が強まる予想



設備状況

今期は不足感が弱まった
来期は横ばいを予想

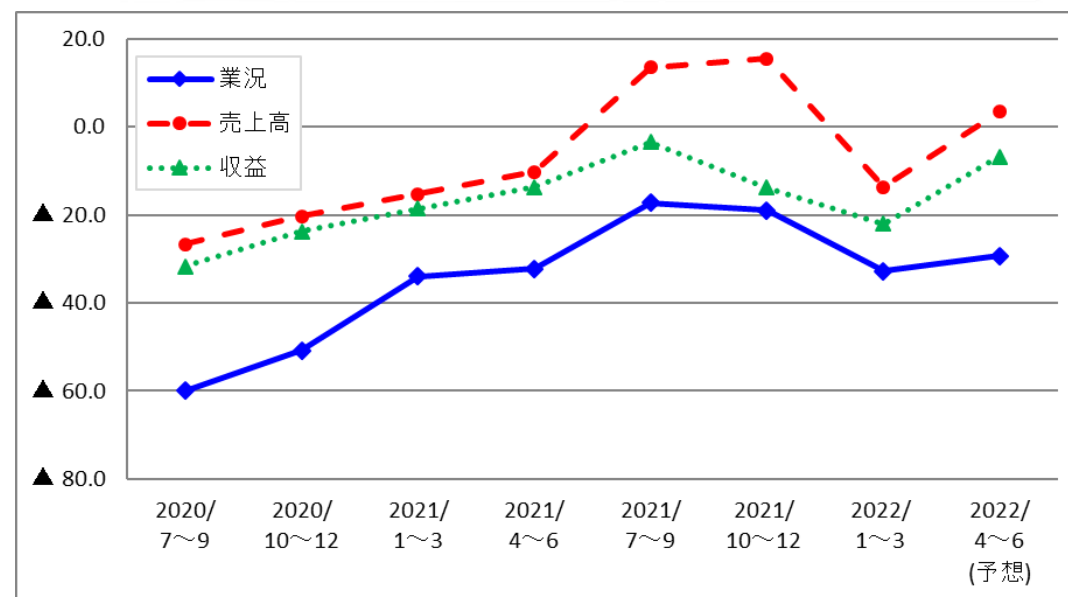
- ①設備状況DIは▲4.8で対前期比4.1ポイント不足感が弱まった
- ②前年同期比4.6ポイント不足感が弱まった
- ③来期DIは▲4.8と横ばいを予想



7. 業種別業況の推移／製造業（回答：58社）

業況は大幅悪化、来期は改善を予想

- ①業況は回答数58社のうち8社(13.8%)が「良い・やや良い」、27社(46.6%)が「悪い・やや悪い」と回答
- ②業況DIは、▲32.8で対前期比13.8ポイントの大幅悪化、来期は▲29.3と3.5ポイントの改善を予想
- ③売上高DIは▲13.6で対前期比29.1ポイントの大幅減少、収益DIは▲22.0で対前期比8.2ポイントの減少



	2020年		2021年				2022年	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月 (予想)
業況	▲60.0	▲50.8	▲33.9	▲32.2	▲17.2	▲19.0	▲32.8	▲29.3
売上高	▲26.7	▲20.3	▲15.3	▲10.2	13.6	15.5	▲13.6	3.4
受注残	▲31.7	▲22.0	▲10.2	▲8.5	10.2	8.6	▲8.5	▲1.7
収益	▲31.7	▲23.7	▲18.6	▲13.6	▲3.4	▲13.8	▲22.0	▲6.8
販売価格	▲5.0	▲6.9	▲3.4	3.4	8.5	10.3	16.9	22.0
原材料価格	3.3	8.6	8.5	23.7	35.6	50.0	57.6	52.5
原材料在庫	11.7	10.2	5.1	10.3	▲5.1	0.0	▲10.2	▲13.6
資金繰り	▲21.7	▲18.6	▲13.6	▲15.3	▲18.6	▲6.9	▲15.3	▲11.9
雇用(人手)	16.7	▲10.3	▲1.7	▲16.9	▲15.3	▲15.5	▲18.6	▲22.0
設備状況	3.3	0.0	▲3.4	▲1.7	▲10.2	▲7.0	▲3.4	▲5.1

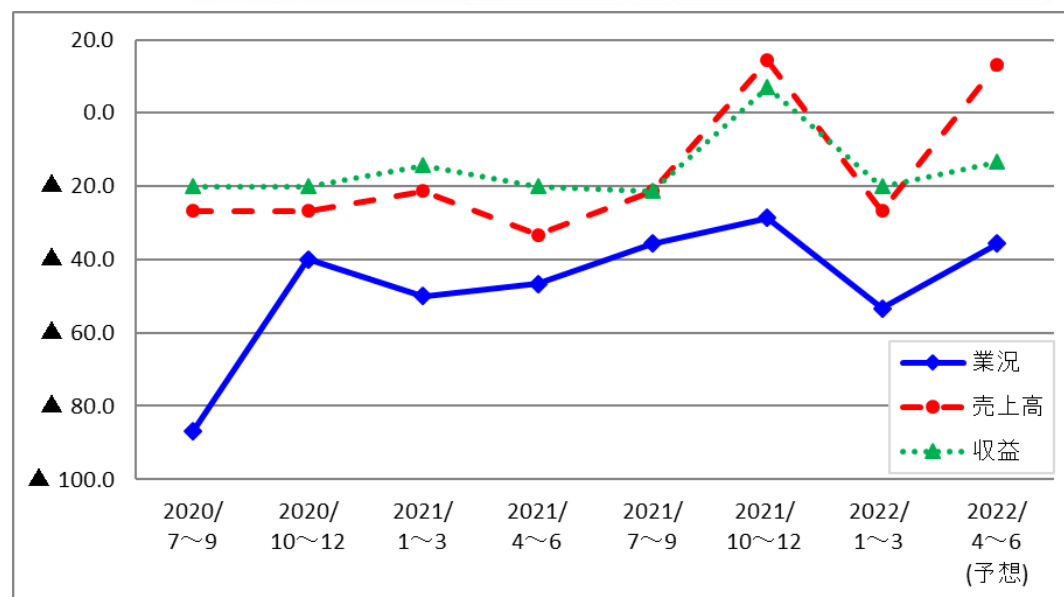
【お客さまの声(抜粋)】

- ①売上は好調に推移しているが、ウッドショックの影響で原材料の高騰・不足が大きな課題となっている。
(住宅資材)
- ②原材料高騰による利益幅縮小に加え、半導体不足による受注の遅れなどの影響が続いている。新型コロナウイルスの影響により今後の見通しは不透明である。
(金属)

8. 業種別業況の推移／卸売業（回答：15社）

業況は大幅悪化、来期は大幅改善を予想

- ①業況は回答数15社のうち1社(6.7%)が「良い・やや良い」、9社(60.0%)が「悪い・やや悪い」と回答
- ②業況DIは、▲53.3で対前期比24.7ポイントの大幅悪化、来期は▲35.7と17.6ポイントの大幅改善を予想
- ③売上高DIは▲26.7と対前期比41.0ポイントの大幅減少、収益DIも▲20.0と対前期比27.1ポイントの大幅減少



	2020年		2021年				2022年	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月(予想)
業況	▲86.7	▲40.0	▲50.0	▲46.7	▲35.7	▲28.6	▲53.3	▲35.7
売上高	▲26.7	▲26.7	▲21.4	▲33.3	▲21.4	14.3	▲26.7	13.3
収益	▲20.0	▲20.0	▲14.3	▲20.0	▲21.4	7.1	▲20.0	▲13.3
販売価格	▲6.7	0.0	14.3	6.7	7.1	14.3	20.0	26.7
仕入価格	13.3	40.0	14.3	20.0	7.1	57.1	26.7	40.0
在庫	20.0	0.0	28.6	13.3	35.7	0.0	6.7	13.3
資金繰り	▲26.7	▲13.3	0.0	0.0	▲7.1	0.0	0.0	0.0
雇用(人手)	40.0	6.7	21.4	6.7	14.3	▲21.4	0.0	6.7
設備状況	▲7.1	▲6.7	0.0	▲7.1	▲15.4	7.1	▲7.1	▲7.7

【お客さまの声(抜粋)】

①仕入価格の高騰により影響はあるが、仕入先の変更などは考えていない。

(生鮮魚)

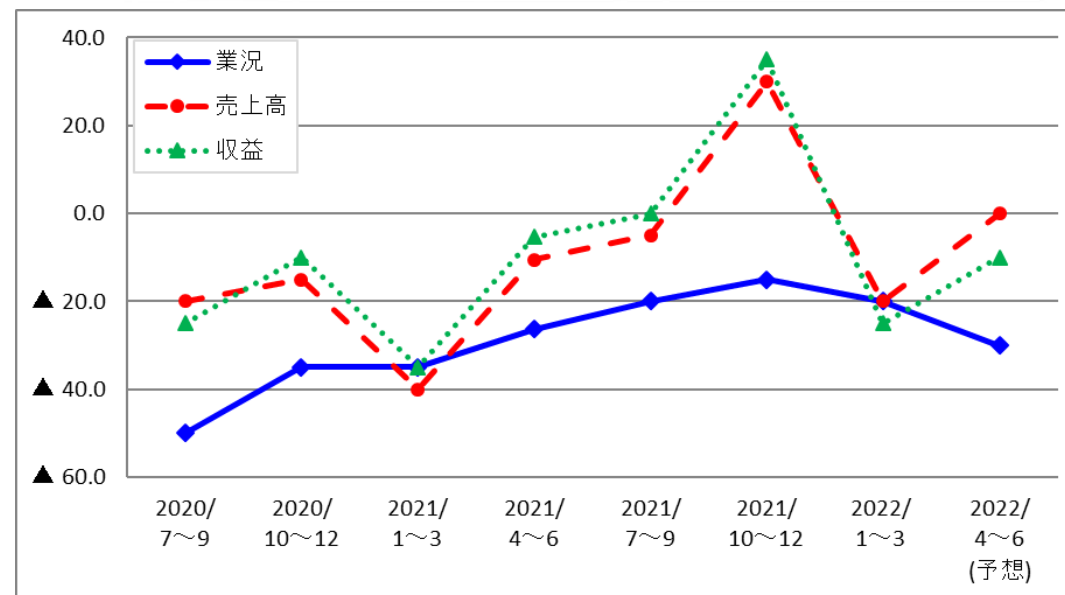
②昨年末、一時的に回復傾向にあったものの、1~2月不調。コロナ感染拡大の影響あり、業界全体の価格改定が施行されるので、売上減少を懸念。利益率アップを見込める価格設定と、商品開発に努める。

(紙・紙製品)

9. 業種別業況の推移／小売業（回答：20社）

業況は悪化、来期も悪化を予想

- ①業況は回答数20社のうち2社（10.0%）が「良い・やや良い」、6社（30.0%）が「悪い・やや悪い」と回答
- ②業況DIは、▲20.0で対前期比5.0ポイント悪化、来期も▲30.0と10.0ポイントの悪化を予想
- ③売上高DIは▲20.0で対前期比50.0ポイントの大幅減少、収益DIも▲25.0で対前期比60.0ポイントの大幅減少



	2020年		2021年				2022年	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月 (予想)
業況	▲50.0	▲35.0	▲35.0	▲26.3	▲20.0	▲15.0	▲20.0	▲30.0
売上高	▲20.0	▲15.0	▲40.0	▲10.5	▲5.0	30.0	▲20.0	0.0
収益	▲25.0	▲10.0	▲35.0	▲5.3	0.0	35.0	▲25.0	▲10.0
販売価格	▲5.0	5.0	10.0	5.3	5.0	30.0	20.0	25.0
仕入価格	10.0	20.0	15.0	10.5	5.0	50.0	25.0	45.0
在庫	10.0	15.0	15.0	10.5	10.0	5.0	5.0	5.0
資金繰り	▲35.0	▲10.0	▲15.0	▲10.5	▲25.0	▲15.0	▲20.0	▲15.0
雇用(人手)	▲15.0	▲10.5	▲20.0	▲5.3	▲20.0	▲25.0	▲30.0	▲35.0
設備状況	0.0	5.0	▲15.0	▲5.3	0.0	▲10.5	0.0	0.0

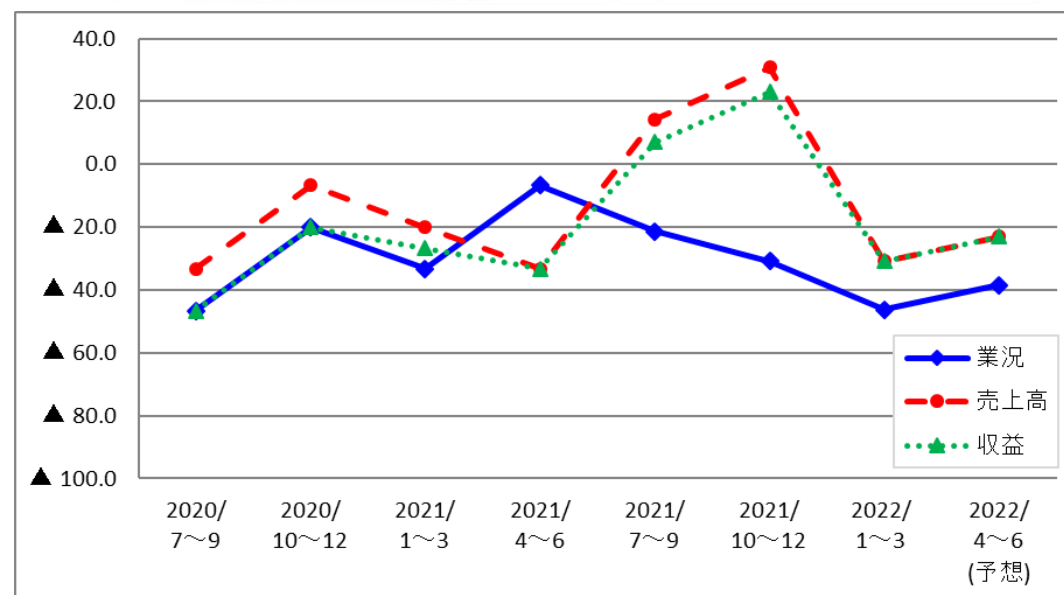
【お客さまの声(抜粋)】

- ①原油価格の高騰により、収益が減っている。国の介入はあるもののまだ具体的な実感がない。今後の情勢に注視したい
(燃料)
- ②半導体不足により、新車不足で売上が低迷中のため、中古車の価格を上げ、売上確保に努めている。
(自動車)

10. 業種別業況の推移／サービス業（回答：13社）

業況は大幅悪化、来期は改善を予想

- ①業況は回答数13社のうち「良い・やや良い」と回答した先は無し。6社（46.2%）が「悪い・やや悪い」と回答
- ②業況DIは、▲46.2で対前期比15.4ポイントの大幅悪化、来期は▲38.5と7.7ポイントの改善を予想
- ③売上高DIは▲30.8で対前期比61.6ポイントの大幅減少、収益DIも▲30.8で対前期比53.9ポイントの大幅減少



	2020年		2021年				2022年	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月 (予想)
業況	▲46.7	▲20.0	▲33.3	▲6.7	▲21.4	▲30.8	▲46.2	▲38.5
売上高	▲33.3	▲6.7	▲20.0	▲33.3	14.3	30.8	▲30.8	▲23.1
収益	▲46.7	▲20.0	▲26.7	▲33.3	7.1	23.1	▲30.8	▲23.1
販売価格	▲6.7	13.3	0.0	▲6.7	7.1	23.1	7.7	0.0
仕入価格	▲6.7	33.3	0.0	0.0	28.6	53.8	53.8	30.8
資金繰り	▲50.0	▲6.7	▲26.7	▲33.3	▲7.1	▲15.4	▲46.2	▲46.2
雇用(人手)	▲20.0	0.0	0.0	▲13.3	▲7.1	▲38.5	▲23.1	▲15.4
設備状況	▲6.7	▲13.3	▲33.3	▲6.7	▲14.3	▲30.8	▲23.1	▲23.1

【お客さまの声(抜粋)】

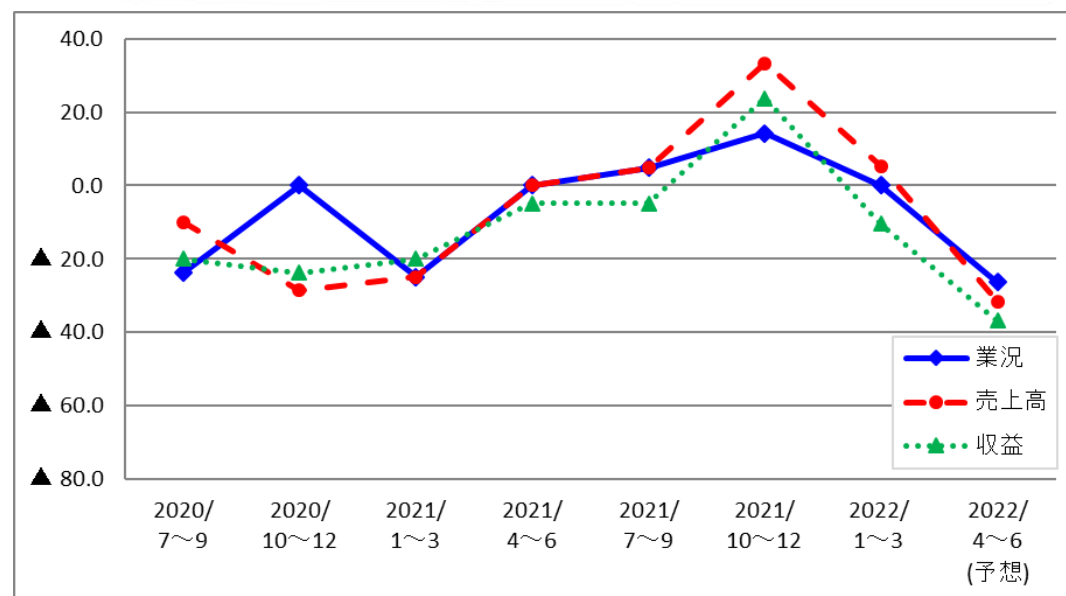
①コロナ禍第6波が流行しているものの、理容業界においては、ダメージが比較的少ない。散髪はなくてはならないものという消費者の思い。
(理容)

②自動車販売は増加しているが、納車が遅く、資金繰りが困難。整備は問題ない。
(自動車)

11. 業種別業況の推移／建設業（回答：19社）

業況は大幅悪化、来期も大幅悪化を予想

- ①業況は回答数19社のうち3社(15.8%)が「良い・やや良い」、3社(15.8%)が「悪い・やや悪い」と回答
- ②業況DIは、0.0で対前期比14.3ポイントの大幅悪化、来期も▲と26.3ポイントの大幅悪化を予想
- ③売上高DIは5.3で対前期比28.0ポイントの大幅減少、収益DIも▲10.5で対前期比34.3ポイントの大幅減少



	2020年		2021年				2022年	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月 (予想)
業況	▲23.8	0.0	▲25.0	0.0	4.8	14.3	0.0	▲26.3
売上高	▲10.0	▲28.6	▲25.0	0.0	4.8	33.3	5.3	▲31.6
受注残	▲20.0	0.0	▲10.0	0.0	▲19.0	▲9.5	▲21.1	▲31.6
施行高	▲20.0	▲9.5	▲20.0	0.0	▲23.8	14.3	▲21.1	▲15.8
収益	▲20.0	▲23.8	▲20.0	▲4.8	▲4.8	23.8	▲10.5	▲36.8
請負価格	▲20.0	▲14.3	▲15.0	0.0	0.0	19.0	10.5	5.3
原材料価格	15.0	14.3	20.0	38.1	42.9	57.1	68.4	73.7
原材料在庫	▲5.9	5.6	▲5.9	▲5.6	0.0	▲5.3	▲6.3	▲6.3
資金繰り	0.0	14.3	▲10.0	9.5	4.8	0.0	▲5.3	▲21.1
雇用(人手)	▲23.8	▲42.9	▲45.0	▲28.6	▲33.3	▲38.1	▲21.1	▲26.3
設備状況	▲4.8	▲4.8	▲10.0	▲4.8	▲4.8	▲10.0	0.0	5.3

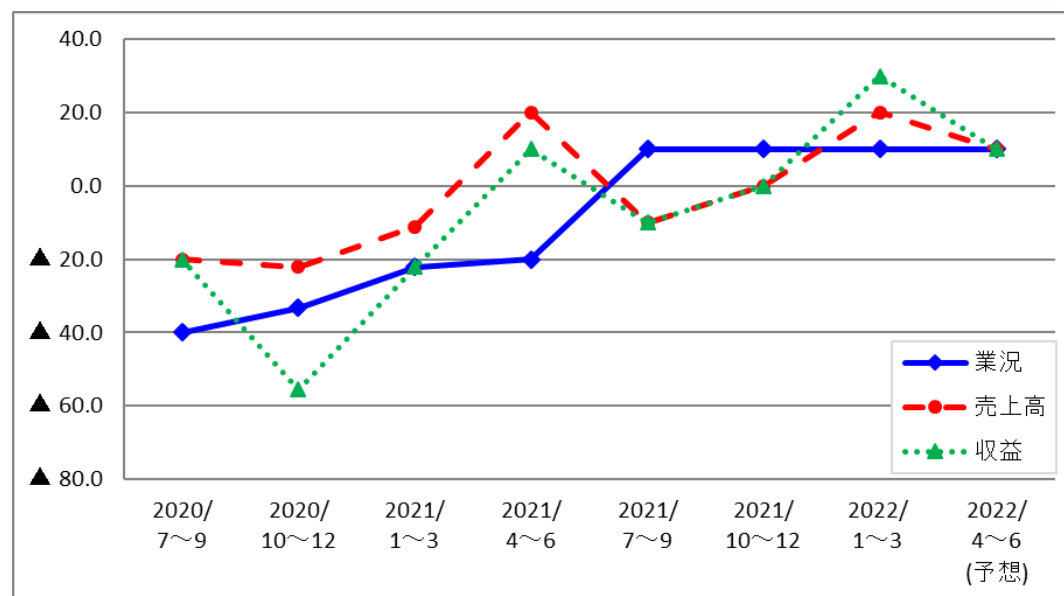
【お客さまの声(抜粋)】

- ①新幹線工事終了により売上・受注減少を予想したが、官公庁の受注増加により売上維持が可能。
(総合工事業)
- ②木材等の価格が安定していない為その都度価格確認が必要となり、見積書を早く提出できない。4月にはもう一度商品等が値上げすることになっている。業界全体としては動きが活発化していると思う。
(総合工事業)

12. 業種別業況の推移／不動産業（回答：10社）

業況は横ばい、来期も横ばいを予想

- ①業況は回答数10社のうち3社（30.0%）が「良い・やや良い」と回答、2社（20.0%）が「悪い・やや悪い」と回答
- ②業況DIは、10.0で対前期比横ばい、来期も10.0と対前期比横ばいを予想
- ③売上高DIは20.0で対前期比20.0ポイントの大幅増加、収益DIも30.0で対前期比30.0ポイントの大幅増加



	2020年		2021年				2022年	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月 (予想)
業況	▲40.0	▲33.3	▲22.2	▲20.0	10.0	10.0	10.0	10.0
売上高	▲20.0	▲22.2	▲11.1	20.0	▲10.0	0.0	20.0	10.0
収益	▲20.0	▲55.6	▲22.2	10.0	▲10.0	0.0	30.0	10.0
販売価格	▲20.0	▲22.2	0.0	▲10.0	20.0	▲10.0	0.0	0.0
仕入価格	▲10.0	12.5	11.1	10.0	20.0	10.0	40.0	40.0
在庫	0.0	0.0	0.0	▲20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
資金繰り	▲40.0	▲11.1	▲11.1	▲10.0	10.0	10.0	20.0	10.0
雇用(人手)	0.0	0.0	▲11.1	▲20.0	▲10.0	▲20.0	▲20.0	▲20.0

【お客様の声(抜粋)】

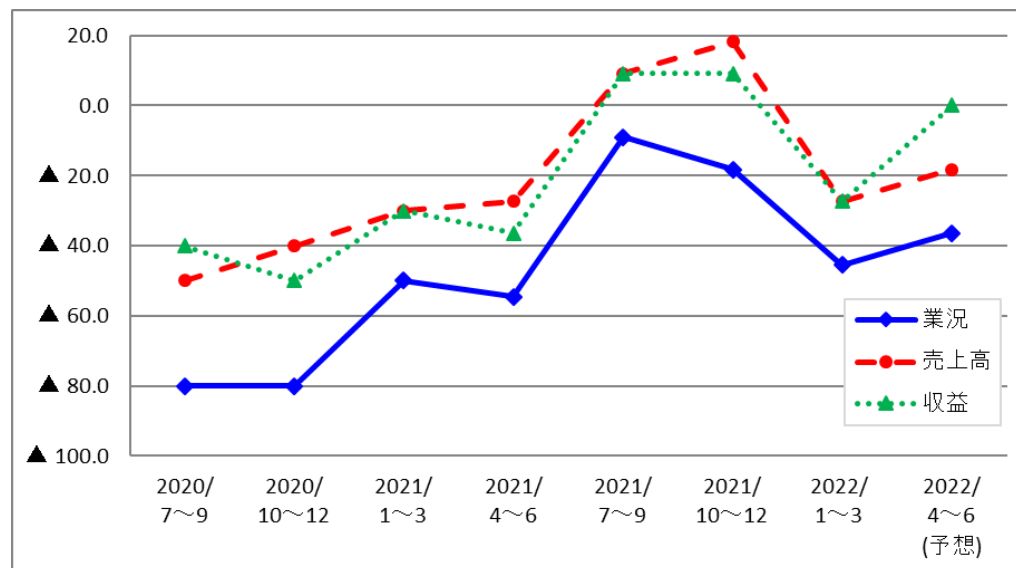
- ①販売開始から完了となるまでの期間が長期化しており、業況が厳しい。既存販売物件の早期売却が喫緊の課題である。
(建売業)

13. 地場産業調査(眼鏡産業・繊維産業)

眼鏡産業（製造業9社・卸売業2社）

業況は大幅悪化 来期は改善を予想

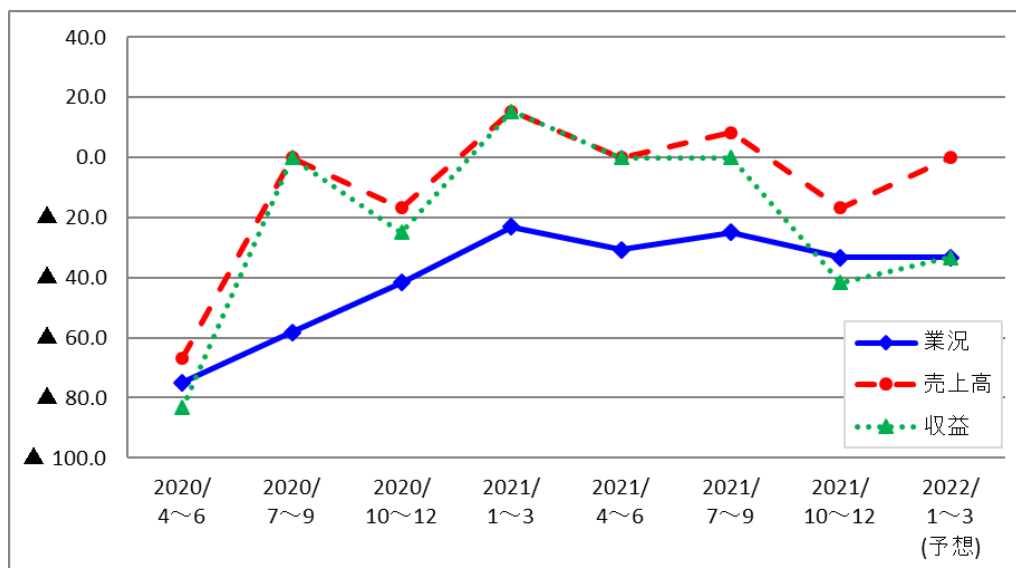
- ①業況は回答数11社のうち、1社(9.1%)が「良い・やや良い」、6社(54.5%)が「悪い・やや悪い」と回答
- ②業況DIは、▲45.5と対前期比27.3ポイントの大幅悪化、来期は▲36.4で9.1ポイントの改善を予想
- ③売上高DIは▲27.3で対前期比45.5ポイントの大幅減少、収益DIも▲27.3で対前期比36.4ポイントの大幅減少



繊維産業（製造業9社・卸売業3社）

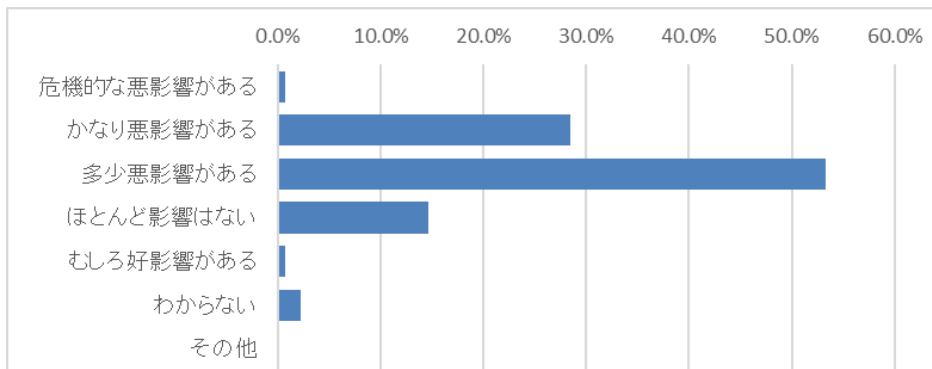
業況は大幅改善 来期は大幅悪化を予想

- ①業況は回答数12社のうち2社(16.6%)が「良い・やや良い」、4社(33.3%)が「悪い・やや悪い」と回答
- ②業況DIは、▲16.7と対前期比16.6ポイントの大幅改善、来期は ▲41.7と25.0ポイントの大幅悪化を予想
- ③売上高DIは▲16.7で対前期比横ばい、収益DIは▲25.0で対前期比16.7ポイントの大幅増加

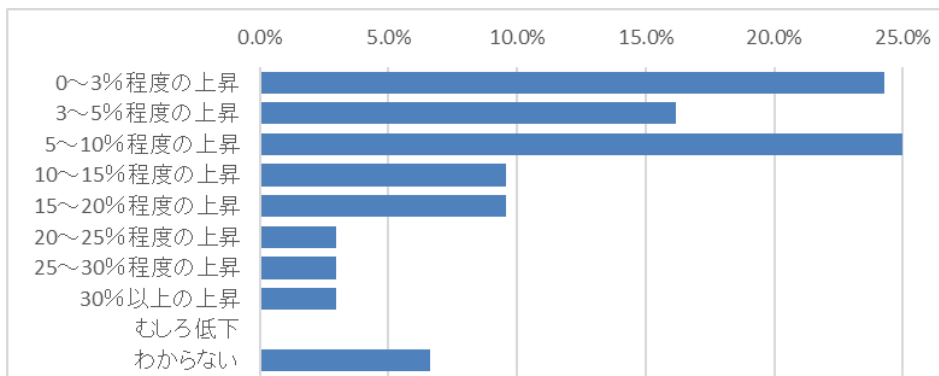


14. 特別調査 「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

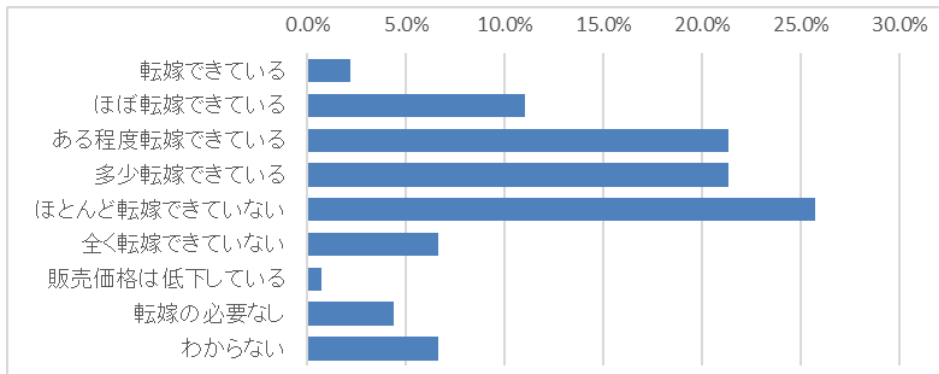
(1) 最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。



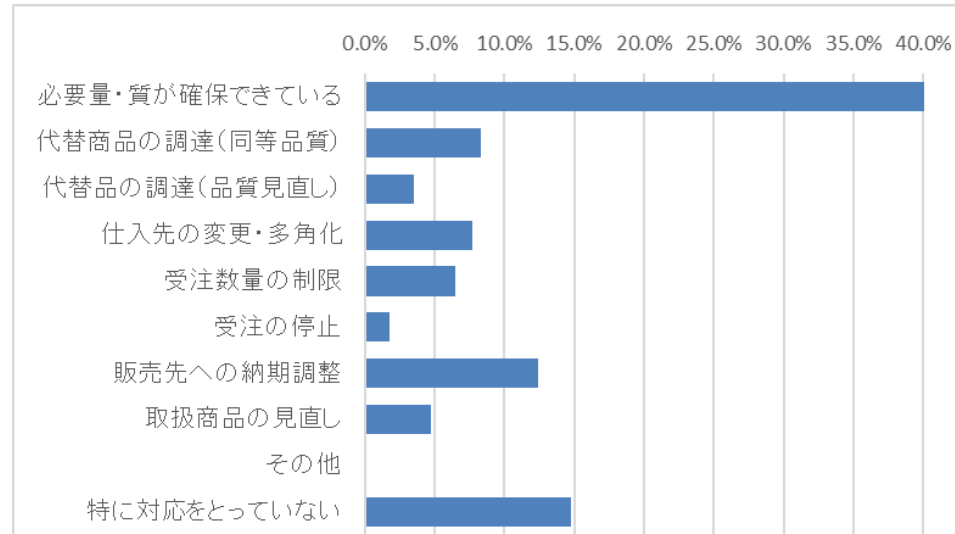
(2) 原材料・仕入価格は1年前と比較してどの程度変化しましたか。



(3) 原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。



(4) 各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。(複数回答)



(5) 仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点はありますか。(複数回答)

